

2014年度 認定社会福祉士特別研修 参加者募集要項

1. 趣旨

「認定社会福祉士特別研修」（以下「特別研修」という）は、認定社会福祉士の認定申請に必要な要件の一つである、研修履修に関する経過措置対応として開催します。

認定社会福祉士になるためには次の要件を満たすことが必要です。

- ①社会福祉士及び介護福祉士法に定める社会福祉士資格を有すること
- ②日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領と懲戒の権能を持っている団体の正会員であること（注1）（申請時に日本社会福祉士会会員（注2）もしくは日本医療社会福祉協会会員であること）
- ③社会福祉士取得後、原則として厚生労働省の通知に定める相談援助実務経験が過去10年以内に5年以上あること。このうち、社会福祉士を取得してからの実務経験が複数の分野にまたがる場合、認定を受けようとする分野での経験が2年以上あること
- ④別に例示する実務経験があること
- ⑤認められた機関での研修を受講していること（研修受講20単位及びスーパービジョン実績10単位）

注1）：認定後に団体の正会員でなくなると認定社会福祉士は取り消されます。

注2）：日本社会福祉士会の正会員に所属する社会福祉士を指します。

今回の経過措置は、上記要件の⑤について、過去の研修履歴を評価し、特別研修を修了することで、「⑤認められた機関での研修を受講していること」とみなすものです。したがって、今回の経過措置が適用され、上記要件の①から⑤までを満たした者は認定社会福祉士の認定申請ができます。

過去の研修履歴とは、ソーシャルワーカーの職能団体が行う生涯研修において180時間（12単位）以上の研修履歴が必要です。認証・認定機構では日本社会福祉士会の生涯研修と日本医療社会福祉協会の生涯研修を対象として認めています。

なお、特別研修の修了をもって認定社会福祉士になれるわけではありません。認定社会福祉士になるためには、別途、認定申請が必要となります。

2. 特別研修の目的

特別研修は認定社会福祉士認定のための経過措置対応として、修了者には認定社会福祉士同等の実践力があることを担保することを目的としています。認定社会福祉士認定の本来の要件・水準と同等以上であること、すなわち認定社会福祉士の要件である認められた機関での研修30単位を取得した者相当以上であり、具体的には研修20単位相当量の研修受講による知識・技術を習得していることを確認し、スーパービジョン10単位相当量の実践力を得ていることの確認を行います。

【認定社会福祉士の定義】（認定社会福祉士認定規則第2条から抜粋）

社会福祉士及び介護福祉士法に定める相談援助を行う者であって、所属組織を中心にした分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められた者をいい、次の各号に掲げる役割を果たす。

- (1) 複数の課題のあるケースの対応を担当する。
- (2) 職場内でリーダーシップをとる。実習指導など人材育成において指導的役割を担う。
- (3) 地域や外部機関との対応窓口となる（窓口として緊急対応、苦情対応などに関わる。）
- (4) 関連分野の知識をもって、他職種と連携する。職場内でのコーディネートを行う。組織外に対して自分の立場から発言ができる。

3. 特別研修の基本フレーム

- (1) 研修8単位分（12単位分は過去の研修履歴を評価）については、支援の開始から終結（もしくは事業の開始から終了）までのレポート提出を求め、共通専門及び分野専門の知識を確認します。
- (2) スーパービジョンについては、支援過程において重要と考える特定場面の出来事（逐語など）とその際の判断や推察を記述したレポートの提出を求め、専門的な技術や根拠をもって適切に判断・行動ができているかどうかを確認します。

4. 主催

認定社会福祉士認証・認定機構

5. 受講対象者

特別研修は、当研修を修了することで認定社会福祉士の認定申請を行う予定がある者を対象に開催します。従って、受講要件は認定社会福祉士の認定要件と同様になります。具体的には次の事項をすべて満たすことが必要です。

- ①社会福祉士及び介護福祉士法に定める社会福祉士資格を有すること
- ②日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領と懲戒の権能を持っている団体（日本社会福祉士会の正会員および日本医療社会福祉協会）の正会員であること
- ③社会福祉士取得後、原則として厚生労働省の通知に定める相談援助実務経験が過去10年以内に5年以上あること。このうち、社会福祉士を取得してからの実務経験が複数の分野にまたがる場合、認定を受けようとする分野での経験が2年以上あること
- ④別に例示する実務経験があること（※）
- ⑤日本社会福祉士会もしくは日本医療社会福祉協会の生涯研修で180時間以上の研修を受講していること（日本社会福祉士会の場合は旧生涯研修制度の共通研修課程修了3回以上の方、または2回修了かつ専門分野別研修4単位以上取得している方が対象となります。日本医療社会福祉協会の場合は認定医療社会福祉士を取得している方が対象となります。）

※④：認定社会福祉士の認定申請時に「実務経験内容」を提出いただきます（認定社会福祉士制度認定規則施行細則参照）。今回の特別研修受講申込時は不要です。

6. 定員 48名（先着順）

7. 集合研修日程及び会場

	日程	会場
集合研修Ⅰ	2015年1月10日（土）～11日（日）	全理連ビル9階会議室 （JR山手線・総武線・都営地下鉄大江戸線「代々木駅」北口駅前）
集合研修Ⅱ	2015年2月28日（土）	中央大学駿河台記念館3階370 （JR中央線・総武線・東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」）

8. 受講費 32,000円（事前振込）

9. 申込期日

2014年10月1日（水）～10月31日（金）必着。申込締切前でも定員となり次第、締め切ります。なお、申込者が少数の場合には研修を開催しないこともありますので予めご了承ください。

10. 受講可否の連絡

受講可否の連絡は、11月14日（金）ころ郵便にて発送します。受講可の方へは、あわせて、課題レポート、会場案内、受講費の納入方法、懇親会、キャンセル等の扱いについてもご案内します。

11. 修了要件

集合研修への全出席、全レポート提出は必須です。そのうえでレポートの内容を評価し修了判定します。

12. 研修プログラム（予定）

自宅学習と集合研修を行います。

13. 研修期間の延長

集合研修Ⅰ受講後、やむを得ず集合研修Ⅱ（自宅学習Ⅱ含む）の受講ができない場合は、次回開催する特別研修の集合研修Ⅱ（自宅学習Ⅱ含む）を受講することができます。費用は別途必要です。

14. 認定社会福祉士の認定申請

認定社会福祉士になるためには、別途、認定申請が必要です。申請受付期間は別途ホームページ上でご案内します。

2014 年度 認定社会福祉士特別研修 研修プログラム（予定）

区分	日程・会場	内容																		
自宅学習Ⅰ	レポート締切 12月19日(金)	レポートを作成・提出 1)課題レポート1 ソーシャルワークにおける「バイオ・サイコ・ソーシャルモデル」「生態学的視点」「システム理論」についての説明 (800～1,000字程度) 2)課題レポート2 「自身の実践支援の開始から終結までの展開過程」 (3,000字程度) 3)課題レポート3 「自身の実践の特定場面における振り返り」 (字数制限無し)																		
集合研修Ⅰ	1月10日(土) ～11日(日) <東京>	◆1日目 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">時間</th> <th style="width: 80%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13:00～13:15</td> <td>オリエンテーション・開会挨拶</td> </tr> <tr> <td>13:15～16:15 (180分)</td> <td>講義「社会福祉実践における価値」「知識と実践の融合」</td> </tr> <tr> <td>16:30～18:00 (90分)</td> <td>演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討～共通事例を用いて～」</td> </tr> </tbody> </table> ◆2日目 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">時間</th> <th style="width: 80%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9:30～12:00 (150分)</td> <td>演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討～自身の実践を対象に～」</td> </tr> <tr> <td>12:00～13:00</td> <td>昼食・休憩</td> </tr> <tr> <td>13:00～15:30 (150分)</td> <td>演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討～自身の実践を対象に～」</td> </tr> <tr> <td>15:30</td> <td>閉会</td> </tr> </tbody> </table>	時間	内容	13:00～13:15	オリエンテーション・開会挨拶	13:15～16:15 (180分)	講義「社会福祉実践における価値」「知識と実践の融合」	16:30～18:00 (90分)	演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討～共通事例を用いて～」	時間	内容	9:30～12:00 (150分)	演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討～自身の実践を対象に～」	12:00～13:00	昼食・休憩	13:00～15:30 (150分)	演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討～自身の実践を対象に～」	15:30	閉会
時間	内容																			
13:00～13:15	オリエンテーション・開会挨拶																			
13:15～16:15 (180分)	講義「社会福祉実践における価値」「知識と実践の融合」																			
16:30～18:00 (90分)	演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討～共通事例を用いて～」																			
時間	内容																			
9:30～12:00 (150分)	演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討～自身の実践を対象に～」																			
12:00～13:00	昼食・休憩																			
13:00～15:30 (150分)	演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討～自身の実践を対象に～」																			
15:30	閉会																			
自宅学習Ⅱ	レポート締切 2月13日(金)	レポート作成・提出 課題レポート4:「自身の実践の特定場面における振り返り～集合研修Ⅰをふまえて自身の実践を省察する～」																		
集合研修Ⅱ	2月28日(土) <東京>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">時間</th> <th style="width: 80%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10:30～10:35</td> <td>オリエンテーション・開会挨拶</td> </tr> <tr> <td>10:35～11:35 (60分)</td> <td>講義「集合研修Ⅰの振り返り」</td> </tr> <tr> <td>11:35～12:30 (55分)</td> <td>演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討」</td> </tr> <tr> <td>12:30～13:15</td> <td>昼食・休憩</td> </tr> <tr> <td>13:15～16:40 (205分)</td> <td>演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討」</td> </tr> <tr> <td>16:40</td> <td>閉会</td> </tr> </tbody> </table>	時間	内容	10:30～10:35	オリエンテーション・開会挨拶	10:35～11:35 (60分)	講義「集合研修Ⅰの振り返り」	11:35～12:30 (55分)	演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討」	12:30～13:15	昼食・休憩	13:15～16:40 (205分)	演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討」	16:40	閉会				
時間	内容																			
10:30～10:35	オリエンテーション・開会挨拶																			
10:35～11:35 (60分)	講義「集合研修Ⅰの振り返り」																			
11:35～12:30 (55分)	演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討」																			
12:30～13:15	昼食・休憩																			
13:15～16:40 (205分)	演習「ピアスーパービジョンの手法を用いた事例検討」																			
16:40	閉会																			